

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（旧約聖書）	1	前期	必修	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。今期は久しぶりに対面授業に戻ったため、旧約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、聖書を自ら開き声に出して輪読すること、紙芝居や絵本の読み聞かせ、DVD鑑賞、ディスカッションなどを取り入れた。学期ごとに行っている教会訪問も再開し、チャペルへの参加やミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。</p> <p>建学の精神に直結する大切な学びとなるため、毎回の授業に記入するクラスポートフォリオをはじめ、チャペルにおいてもポートフォリオ提出を必須とした。</p> <p>今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.1ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は3.9ポイント、自分なりの目標達成は4.1ポイントであった。また、他の到達度自己評価も平均3.8ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上、遠隔チャペルのポートフォリオ提出率は90%以上であった。以上により、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと見えよう。</p> <p>キリスト教学(旧約聖書)はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学（新約聖書）の中で、前期で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての旧約聖書の講義による学びの他、毎週のチャペル参加を促し、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。 自由記述には、「自分を顧みる時間となっています」との回答があり、今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れ視野を広げながら、学生の生活に結びつける視点を大切にしたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>毎回のクラスポートフォリオで学生の学びの現状をつかみ、チャペルポートフォリオの提出により、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。</p> <p>本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要であるため、わかりやすい説明を心がけた。授業の質評価に関しては(1)評価基準については4.1、(2)課題については4.2、(3)「説明は理解しやすいものだった」は4.2、授業の質評価の平均値は4.2ポイントであった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.1、(5)学生の質問については4.2ポイントであったが、今後よりアクティブラーニングの手法を展開し、学生一人一人について把握する取り組みを行いたい。また、情報の利用に関しても、調べ学習を再開する予定である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけではなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。</p> <p>授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、遠隔チャペルの出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入し、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。ようやく対面授業が再開したので、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教の学びを多角的に深められるような指導をしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	浅野 嘉延

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の名称通りキリスト教に重点を置き、また、西南女学院と大学の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義出来る方々を厳選させていただき、講義を行った。宗教主任補佐のラス・ボーグ先生は本学院についての研究者であるため、動画による3回の講義をお願いした。クラスポートフォーリオ提出8回、及びまとめレポート20点で合計100点とした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心に書かれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優、あるいは秀であった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP：この科目は総合人間科学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であると考え

る。
DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4-1に相当しており妥当と考える。

上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。

なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.0であった。大人数授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会提供が難しいが、今後は学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

久しぶりの対面授業、そして今年度は100周年ということもあり、どの学科の学生も意欲的に学ぶことができた。今後も、学生が本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 初年次セミナーⅠは高等学校教育から大学教育への円滑な移行を図るための教育として位置づける授業である。本授業は、まず大学での学習方法を理解してもらうものである。大学での学習には不可欠な要素である「読む」「書く」「話す」「考える」「文献を探す」のアカデミックスキルの基礎を修得することを目指す。</p> <p>2. 授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。学習者の関心事を新たに加えた。</p> <p>3. 「知へのステップ」教材に沿って授業を進めてきたが、学生に社会への関心度を高めてもらうために、毎回新聞記事を中心に発表練習した。さらに「女性の品格」という本を学習したことによって、学生を主体的に司会、発表、自主性を引き付けるようにしてきている。</p> <p>4. 学生全員に毎回レジュメ感想文を書かせたりする学習意識及び方法を高めるようにしてきた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベル（概ね90点以上として評価を作成）に達した。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては90%、意欲関心に関する問題は95%であった。与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また多様な方法がある場合、それぞれの問題点を整理することを少しずつ身に付けられるようになった。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解観点意欲関心の評価点が5点で高かった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性

本科目は「総合人間科学科目」であるが、「専門基礎科目」を繋ぐ要の位置にあり、必修である。授業準備の欄で指摘されたように大学での学習の基礎であるため、多様な課題に答えるように工夫し、学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

DP、行動目標から見ての内容的妥当性

成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度が高かったため、内容的には妥当であったと考える。

まとめ、以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4とやや高かった。復習の時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けては、第一に意識関心事を具体的に示す上で、授業に参加するよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門基礎科目の入り口にあたる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については達成できた。

授業過程を振り返って見たとき、復習予習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また学生からの意見は十分に受け入れ、来年度に改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>管理栄養士の必修科目として「健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系」の基礎知識の理解と把握に重点を置いた。また、健康に関する情報は近年メディアを通して日常的にかつ断片的に触れている。トピックス、ダイエット、体作りを取り上げながら、自己を含めた人の健康管理をする上で必要な知識を理解できるよう授業計画を構成した。また、授業計画では教科書等の予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませるよう促した。</p> <p>出欠アンケートで、まとめと質問を設け、学生の理解度を高めた。その結果、授業で内容を理解しようという姿勢が全授業を繰り返すに従って向上した。授講の理由は必修科目であるが100%であった。しかしながら、この科目に関心があると答えた学生が2.9%と低く、健康関連科目に関心が低いことは問題と思われ、学生の各科目に対する位置付けがどのように形成されているか、考える必要がある。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89±2.5点で、再試対象は0名であった。</p> <p>全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは27名（34名中、50%）であった。</p> <p>目標達成できたと答えた総数は32人（34名中、94%）を示した。</p> <p>「達成度」は平均値が全項目で3.5-4.1の間であり、「授業の質の評価」も全て平均が3.7-4.0であった。</p> <p>「コミュニケーション力・表現力の獲得」はコロナ禍の影響はなかったと考えられる。</p> <p>予習、復習の課題が少なく、授業以外での予習復習は17人(34名中)はしていない。</p> <p>シラバスの情報を参考にしなかった者16名（34名中）と高かった。</p> <p>欠席する者少なく全員が積極的に受講していたが、今後、より関心を高め参加しやすい方法を考えたい。</p> <p>また、教科書以外の資料はインターネットを利用し、配布やアンケートの回収もネット上で行いうことができた。</p> <p>自由記述の評価での記述が少なく、悪い評価は見当たらなかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性について 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自我管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めていたことから、内容的には英語学科の学生にも妥当な内容であったと考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみての内容的妥当性について 成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高まれば、もう少し深く進める事も出来ると考える。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生よりも、単位獲得目的の学生の方が多く、「受講動機」が曖昧な学生も多い中、「学習到達度の自己評価」は32名(34人中)が達成できたと考えており、観光文化学科の学生に妥当な内容と判断した。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価において、予習を全くしなかった者が17名(34名中)であった。 毎回授業の復習、興味関心をアンケートしたことで関心が高まっていれば幸いである。 シラバスを参考にしなかった者が16名(34名中)、授業計画を立てなかった者15名であった。 次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上、小テストの出題要点を事前に示し、その内容の検討してから授業参加するよう促すようにしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。 授業過程を振り返ってみたとき、予習課題の提示などで改善を図りたい。 以上から、毎回のねらいを具体的に提示し、 毎時間に、授業の内容について、数問の問題を自作させた。 若干の復習と理解のポイントを意識できたかもしれない。 授業評価から、学生の意見を取り入れ、更なる改善を試みたいと思う。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメやネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどを新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。新聞作成はグループの作業となったので、個別の評価は各回の授業の感想において、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできるかを加えた。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。新聞作成においては、グループで個性が際立ち、文章力、情報収集力など特徴が異なるため、ジェンダーをめぐる課題を社会構造と結び付けられているか、意欲関心が表現されているかを評価した。基本的に、テーマに関心の高い学生が集まっており、基準には到達していた。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

新聞記事として表現された内容から、ジェンダーをめぐる現状に社会的解決が必要であること、それを実現するために求められる施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容の妥当性は認められる。ただし、関心の高いテーマ（例えばLGBTなど）へは考察が深い、より多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉える力が不十分な学生も見受けられた。ただ、グループ討議などで他者の意見を聞くことで、おおむね新たな気づきにつながっていたと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

開講以来、初めてすべて授業を対面で実施し、グループ討議がより活発に行われた。自分自身の意見を述べることや他者の意見を聴くことに、楽しさを見出していた。特に、学科を超えてグループを作ったので、通常では話せない学生同士で思わず深い話ができただけでもあった。一方的な講義より、理解が深まったものと思われる。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を政治や経済と関連する理解へと結びつけることは、継続的な課題である。最終回で新聞作成をしたが、グループによっては時間が足りないという不満も出たので、時間配分については再考したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
人文学入門	1	前期	必修	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度までの当該科目で特に問題がなかったため、今年度も同様の内容とした。「不可」はなく出席が不足して単位の取得ができない学生がおり、授業外での指導の必要性を感じた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>前述のように、「不可」になったものがないかった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の自由記述が極めて少なく判断の難しいところではあるが、おおむね妥当であると思われる。ただし、入学したばかりの受講生がほとんどで理解できないままに履修を終えたケースもあるかもしれないことを念頭に置いて、各担当者がこの科目の位置づけについて積極的に学生に説明することも考えなければならない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「科目上の位置づけ」と同様に評価が難しいところではあるが、学生のコメントに不満は全くなく、大きな問題はないと思われる。さらなる授業改善のために、事前に担当者間で打ち合わせをすることが大切であろう。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体としては問題がないと思われる。在学生の満足度を上げることは学生募集にもつながるので、受講した学生の生の意見を聞いて今後に生かしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	齋藤 朗宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
数学リテラシー	1	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>これまでの年度と同様に、1年生、全学対象、かつ苦手な学生の多い数学ということであり、また、受講の動機からも、基本的には興味関心よりは単位取得を目的として受講している科目であるため、内容理解へのモチベーションを上げる必要から、テーマを身近なものにすることを特に意識した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業アンケートの結果からも到達度自己評価において平均的に3.5～4程度の結果になっており、ある程度達成できたとは考えている。ただ、オンデマンド配信の形式から対面授業への形式に戻った結果か、課題の難易度は大きく動かしていないにもかかわらず平均成績がやや低下している点が懸念事項である。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は特定の学科のカリキュラムに関連すると言うよりは、全学共通の教養科目であるため位置づけは難しいが、学習到達度について概ね達成されたと評価できるため、この点についても大きな問題はないと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学修時間等はある程度確保されており、基本的には問題なさそうである。ただ、オンデマンドで実施していたときには課題を実施しながら復習するなどが可能であったが、対面に戻った結果そういった復習の仕方ができなくなったためか、平均成績が低下している点が懸念事項としてあるため、配付資料などから復習しやすくすること、また、毎週の課題が成績評価上重要であることをもう少し繰り返し指導していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

オンライン授業になった2020年度に授業の進め方などを見直し、それに基づいて本年度も授業を実施した。その結果、基本的には成績評価の基準も明瞭になり、何をやれば良いのかという意味ではわかりやすくなっていると言えそうである。一方で、一度しか聞くことのできない対面授業という前提に基づいて、もう少しわかりやすくする点については改善していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松田 憲

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こころと人間	2	前期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は昨年度までとは異なり、対面で授業を行った。講義配布資料を書き込み式にすることで内容理解を促した。講義では、実験デモや動画視聴を多用することで、学生の受講意欲と理解度の向上を試みた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>試験結果を見る限り、教育目標を達成できたと判断出来る学生が多くいる一方で、そうではない学生も散見される。遠隔から対面に変更したことで、学生の受講態度も向上すると思っていたが、毎授業後に課した小レポートも明らかに授業を聞いていないと思われる者もいた。特に教室の後ろのほうの席では私語も多く、途中退室したまま戻ってこない学生もいた。とはいえ、実験デモや動画視聴を挟むと私語が軽減される傾向もあることから、今後はこれらをさらに増やしていくとよいかも。また、学生から寄せられた質問は遠隔の時と比較して非常に高度なものが多く、少なくとも真面目に受講している学生にとっては対面講義のほうが有効であったと思われる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講生は講義内容におおむね満足していると判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度から対面に戻って行っており、オンラインの時と比べて受講生からの反応が分かりやすく、授業への反映が行いやすかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

来年度も対面で出来ると良いと思う。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
経済学入門	2	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>大切にしていることは、経済学入門として、最近の経済学の話と具体例の導入。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	出席している学生の多くは、単位取得できていた。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

経済学の知識理解は、達成されていると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

具体例の工夫と練習量を増やしたい

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

講義自体の目標は達成できた。次年度は、もう少し興味のあるような例と練習量を増やしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語入門	1	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は初めて中国語を学習する学生を対象とし、中国語の入門知識をマスターすることを目標としています。授業の実施にあたり大切にしていることは2つありました。1つは、学習者に中国語の特徴と学習方法を把握してもらうこと、もう1つは学習者が楽しみながら、しっかり練習できるようにリズム感のある授業にすることです。</p> <p>②開講時に学習目標や学習方法、評価方法を明示した。毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示し、予習・復習してもらった内容は必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明しました。受講動機は「関心のある内容である」が77.3%であったので、大多数の学習者の受講動機に合ったものと考えられます。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、各課の小テストを満点を取り、期末試験も優秀な成績を収めたことから上記のように評価した。</p> <p>また、学生による到達度自己評価において、(2)知識の確認、修正したり、新たに得ることができた項目の平均値が4.2であった、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた項目の平均値が4.2であったことから上記の評価は適切であったと言えます。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性
本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」と関連性を持つ重要な位置にある。学生に中国語の学習方法を伝え、中国語学習において、分かる、できる、つながるという喜びを感じさせ、しっかりとした中国語の基礎を作るが最も重要だと考えて授業を進めた。大多数の学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性
「受講動機」は関心のある内容であったことや、「到達度自己評価」において、(2)知識の確認、修正したり、新たに得ることができた項目の平均値が4.2であった、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた項目の平均値が4.2であることからみて、内容的には妥当であったと考えられます。以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

常に学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めた。
「授業の質の評価」の5項目の中央値はすべて4.0であることから授業の進め方は適切であったと言えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「授業の質評価」5項目の中央値はすべて4.0であることから、総括的に高い授業効果が得られたと評価する。
如何にしてすべての学習者に同等程度の授業効果を得られるかが課題です。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル入門	1	前期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今回の受講動機をみると「関心のある内容である」84.6%、「資格取得に必要である」15.4%、「単位数を確保する」15.4%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。③毎回小テストと会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由には、「どのようなことをしたらいいか分からなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をすることで自習を促す。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は95点であり、再試験対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、14名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては93%、機能表現は99%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかり把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フランス語入門	2	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>登録者10名のうち、4名から回答があった。</p> <p>志望動機は75%が「関心のある内容である」「単位数を確保する」と回答した。その他の回答は「友人が履修している」(2名、50%)「GPAをあげる」(2名、50%)だった。教科書は、学習を始めた初年度からフランス語で自己表現できることを目的としたものを採用し、日常の会話や自分自身について話すことを重点的に取り上げた。コロナ禍に鑑み、毎回の授業スライドと音声はGoogle Classroomにアップし、欠席した際のフォローとした。さらに、予習復習シートを配布し、自習を促した。また、実際に旅行することをイメージするために、語学講座の番組等を用いてフランスの観光地や文化を紹介し、学習のモチベーションアップをはかった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は79点(±34点)であり、期末テストを受けた9名のうち6名は理想的なレベルに達した。2名がA評価、4名がB評価だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」、DP5「技能・表現」ともに100%だった。このことから学生の目標は「達成された」と思われる。学習量の面では、1名を除いて、1回30分程度以上の予習・復習を1～6回行ったと回答した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価において、どの項目も評価は高かった（平均値4.3～5.0、中央値4.5～5.0）。回答した全員が「評価基準は明らかであった」「学習範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「学生が参加する機会が作られていた」「質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と評価した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2回の授業で1つの課を終えるペースを保ち、割合にテンポよく授業を進めることができた。コミュニケーション主体の教科書であったため、クラスメイトと話し合って会話を披露する時間を毎課で設けることができた。少人数のため、1回の授業で発言の機会がひとりで何度も回ってくることもあり、緊張感を持って臨めたと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年度は遠隔授業だったが、今年是对面授業が全面的に復活し、遠隔授業でその有用性が確認できたGoogle Classroomを併用しながら対面授業を行うことができた。マスク越しながら、会話主体の語学の授業を無事に終わられたことに安堵している。一方で、クラスの外での学生の主体的な学びには課題が残る。まだ旅行がしづらい状況で、フランス語圏への旅を具体的にイメージしながらの学習は確かに難しい。しかし宿題やテストのための勉強に終始しては意味がない。来年度は、学生がより生き生きと学べるクラスづくりを目指したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本語表現法	3	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年是对面での講義が叶ったので、かなり学生との交流があり、理解度がこちらに把握できた点良かったと思う。特に日本語表現法は、単なる座学のみではなく、演習の要素を併せ持つことも大切になってくるので、じっくり考える時間を設けることが出来たので、教師と学生の信頼関係も増したと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	一応、75%までは習得できたのではないかと思います。学生たちの本気のやる気がかなり感じられ、他の学生の文章をも披露しながら講義を進めた。その甲斐あってか講義が活性化したように思う。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、80%は活かされていると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本来は、小グループに分けて文章構成の見直しをするのが一番実力がつく方法であるが、コロナ禍を意識してソーシャルディスタンス的講義になったが、彼女たちの苦手意識を払拭させるための「一文構成」の方法で基礎力を高める策をとった。これはこれとして理解の効果はあったように思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

出来得る限り、マンツーマンの個別指導を徹底的にこなし、学生の理解度を殊更チェックすることを今以上に心掛けたいと思う。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。全授業回のうち、前半は基礎技術の習得を行い、後半は実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>情報関連の知識・技術が今後の学生生活や就職後に必須であることを理解できるよう、課題の内容を工夫した。</p> <p>また、後半では、各自が目指す職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業のものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。</p> <p>授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「課題で十分」という記述が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなく能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であり、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少ないが、授業を通して理解されるよう努めている。実際、到達度自己評価の項目のうち、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、の結果は良好であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

後半の能動学習を昨年度までのグループワークではなく各個人の一人プロジェクトとしておこない、プレゼンテーションも個人単位で行った結果、プレゼンテーションのクオリティーが向上した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業内容は、Microsoft OfficeのWordおよびExcelの前半部分（基礎）である。学生の受講動機の高率のもの、④単位数を確保する(62.2%)、③関心のある内容である(56.8%)であった。高校生の時の情報教育内容は出身高校でバラバラであることから、統一した問題を与えるのではなく、前もって、基礎から応用までの種々の問題プリントを前もって与え、高校時代にかなりのことを学んでいる学生に飽きさせないようにそれぞれの問題の解答をいつでも提出させるようにした。そのことにより、自己評価では、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均点4.3)、(1)自分なりの目標を達成させた(平均点4.3)、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた(平均点4.1)、の結果が出ている。授業の質評価では、(1)評価基準は明らかであった(平均点4.1)、(5)学習の範囲や課題は明らかであった(平均点4.1)であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>出身高校時代の情報教育の程度に非常にばらつきがあり、統一的に講義ができず、かなりの程度の知識がある学生については、かなりの課題を与えて回答させた。ただ、定期試験で不合格者がゼロであり、一定の知識理解を全員に与えることができた。しかし、自由記述の意見のなかに、課題で精いっぱいであった、時間に余裕がない、という意見がある一方、実際習ったことを使ってアンケートを集計するときに役立てた、授業後、Excelの各計算方法について再度勉強した、パソコンの操作やword、excelの使い方をたくさん学べてよかったという高評価もあり、改めて、この種の演習の講義進行の難しさを再確認した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容の妥当性は、上記の受講動機、学習到達度の自己評価からも問題はないと考えられる。特に、自由記述の意見で、「レポートの作成の時に、教わったスキルを使った」、「先生の説明を受けながら自分で資料作りをし、講義内の学習のみで身についた」の意見からも、内容の妥当性について問題はない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年度のオンライン演習ではなく、対面授業だったので、一人一人の理解度を見回ることができ、授業で十分理解できたとの評価を受けた。Excelの部分が多かったので、パワーポイントをもうすこしあってもよかったと意見も出た。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の満足度は昨年度のオンライン演習に比べて高かった。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>大学の5学科からの受生（80名）があり、開講3年目で初めての対面授業となった。最初に採点対象学生数とアンケート回答者数（）を示す。看護12名（4）、福祉：26名（9）、栄養：7名（4）、英語：9名（3）、観光文化：26名（6）。観光文化学科の学生への評価アンケートでは、4. 学習量の評価の（1）授業前の予習時間が、昨年度までは、ほぼゼロであった。これは予習課題を掲示していないことが問題であった。今回は外部講師には授業1週間前には、少なくとも30分は事前学習が必要な教材を公開できるように依頼した。5名の外部講師は、動画、文字資料の形式で課題を出してくれた。4. 学習量の評価の（1）授業前の予習時間、（2）授業後の復習については両方とも、①（0回）2名、残り1名は②（1回）であり、事前学習課題を出した意味があったとは言えない。外部講師にお願いして出していたいただいた課題である。しっかり予習させる方策を考えたい。シラバスは100%が参考にしたとしている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>5学科の成績（%）を示す。看護：A33.3、B25、D25、E16.7。福祉：A26.9、B23.1、C11.5、D7.7、E23.1、J7.7。栄養：A28.8、B28.6、C14.3、E28.6。英語：A22.2、B22.2、C33.3、D11.1、E11.1、J7.7。観光文化：A19.2、B26.9、C11.5、D19.2、E19.2、J3.8。評価はレポート（60%）とレポート外の提出物とは五人の外部講師の授業についてのコメント5回分（評価40%）とした。前年度までは、レポート100%としており、不合格者が4割出る学科もあったが、今年度はレポートが60%となり、分散された形となり、履修が昨年度よりは容易になったと言える。授業評価の6. 図書館利用（2）CiNiiなど都市間から利用できる学術データベースを検索して、利用したについては、学科毎に%で示す。看護（75）、福祉（1.1）、栄養（25）、英語（33.3）、観光文化（50）。具体的には、レポート用参考文献の探し方として、授業中に大学図書館の朝日（クロスサーチ）への入り方をさせたことで、利用率は上がった。4. 学習量の評価の記録作成では、記録をしなかった学生はゼロであった。これは外部講師の授業では毎回コメントを出させてことの効果があったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価の10項目の平均を5学科別に%でみる。看護：3.94、福祉：3.07、栄養：2.72、英語：3.63、観光文化：4.5となる。3年前期の選択科目であり、あくまで総合人間科学の科目であるところが肝要と考える。学生の質問は「北九州の技と文化」でのレポートの形式に集中する傾向があり、なぜ専門の内容に書いてはいけないのかということが、よく問われた。対象ではない、DP2（思考判断）、5（技能表現）も、学生からの提出物（コメント、レポート）の評価対象とせざるを得ないところに、DP配置についてはやや苦しいところがある。しかしながら、論理的思考や表現技能を3年になるまでには鍛えられていると期待したい時期に配置されている授業であり、カリキュラムマップ上の位置づけは妥当だと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の5項目の平均を5学科別に%でみる。看護：3.92、福祉：3.12、栄養：2.68、英語：3.54、観光文化：3.42となる。最も低い項目は5学科共に（3）説明は理解しやすいものであったであり、5学科の数値（%）を示すと、看護：3.5、福祉：2.4、栄養：1.8、英語：2.7、観光文化：2.3である。これは厳しい数字であるが、学生の不満が示されているとして、反省する必要がある。学生の意見には、1人から出ている。要約すると、1.簡潔な説明を望む、シラバスの内容が分からないから聞いたのに、シラバスと同じことを言われるのでわかりにくい。2.グループを他学科の学生と組ませているが、初対面では誰も話さないグループもあった。仲よし同士の方が話も弾んで良い意見が出る。回答します。1.おそらく外部講師ではなく、担当者（林）に向けられたものと考えます。次年度は説明の文言に注意して、わかりやすい説明を志したいと思います。2. グループについては5学科からただ一人この意見が出ました。仲よし同士のグループ、知らない人同士のグループの双方にメリット、デメリットがあります。最初の回の授業コメントには、違う学科の人たちと議論することを楽しみにするものもありました。少なくとも私語をする人たちはほとんどいなくなりました。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績としては、A、Bで12名（46.1%）であり、E（不）、J（放）で計6名（23%）。授業評価では到達度自己評価が平均4.5、授業の質評価が平均3.42であり、昨年比で共に0.4以上伸びた。総括的評価としては申し分ないと思う。説明の仕方はわかりやすくなるように考えたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。全7回の講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を6団体招聘して、リアル講義の工夫をした。</p> <p>特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。</p> <p>初回講義の時には、この講義で何をやるかということ、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。</p> <p>なお、今年度も複数学科合同講義で、多人数かつ少々リアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしっかりと受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、とにかく楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものと考えられる。</p> <p>講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。

地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。

事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。

講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、今年度は対面にて、シラバス通りに進化した。

次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>例年、受講動機としては「単位数の確保」の割合が高くなっており、本科目の内容に強い関心を持って履修している学生が多いと言いはし難い。従って、単位の取得という後ろ向きな動機の学生に、本科目を受講することの意義を理解してもらうことが重要な課題と考え講義内容を準備している。アンケートの総合的な結果や講義時に提出してもらっているコメントの内容から、その課題は概ね達成できたと思われる。</p> <p>なお、当学科の受講者数が少ないため、このリフレクションカードは全学科の結果を総合的に見て作成している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>本科目は、学生に将来のキャリア形成に役立ててもらえるような知識を提供し、早い時期からキャリアについて考えることを促すことを目的としているが、アンケートの「職業選択の参考になった」などの項目で良好な結果となっているため、概ねその目的は達成できていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの結果から、多くの学生が専攻する分野の専門知識よりも、教養や社会人としての知識を習得できたと感じていることが伺えるが、本科目の趣旨の鑑みれば妥当な結果と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の位置づけを考えた場合に、予習や復習で学生にあまり多くの負担をかけない方がよいと考えて講義を行っていることもあり、自己学習の時間は少なくなっている。学生の意見から、国試対策など専門分野の課題を優先している学生が多いようであるが、それで問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、全学科合同で実施しているが、学科によってキャリアのために学生が求めている知識や情報が異なっていると感じている。どの学科の学生にも、履修したことが有意義であったと感じてもらえるように、今後も内容を工夫していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると「必修科目である」93.1%、「関心のある内容である」24.1%、「単位数を確保する」13.8%となっている。学生の関心を引き出し、多くの学生が勉強したい科目になるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート提出）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解、態度、技能表現に関する問題はそれぞれ93.1%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館やインターネットの利用に関しては、それぞれ31%、34.4%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、態度、技能表現に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「観光学入門」であるが、「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価は「良」でした。「説明は理解しやすいものであった」、「評価基準は明らかであった」に関してはそれぞれ94.7%で、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ79.3%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある「観光学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、態度、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目に対する学生の受講動機をみると、「資格取得に必要な」と答えた学生が88.5%、「関心のある内容である」と答えた学生が46.2%であり、それぞれ「単位数を確保する」と答えた学生の38.5%を超えている。これは本科目に対する期待の現れであると言える。授業においては、日本各地のさまざまな観光資源の単なる説明にとどまることがないように、歴史、風土、民俗、食文化など背景を踏まえて丁寧に説明することに重点を置いている。また、各地の地形や気候環境が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについても詳しく説明するように心掛けている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DPの平均値は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目が4.0である以外は、すべて4.2以上と高い。本科目が各地の観光資源に関する知識の習得を一つの目標としていることを鑑みると、本科目の教育目標は達成できたと考えることができる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」の一つであり、観光学および観光ビジネスの基礎となる性格を有していることから、内容的妥当性については問題がないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、平均値の大半が4.1～4.5と総じて高いことから学習目標は達成できたと考えている。知識の習得という学習目標が主となるため、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は4.1と他の平均値より低い結果となったが、今後は発表の機会を設けるなど、次年度に向け検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。今後の授業においてもできるだけわかりやすく丁寧な講義となるよう心掛けていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」に位置付けられており、旅行業法や旅行業約款など旅行関連の法律を取り扱っている。授業においては、旅行業法および旅行業約款の成り立ちから逐条解説をおこない、理解すべきポイントなどをわかりやすく説明することを心掛けている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.3と高いものの、その他の項目の平均値が3.5～4.2であること、また自由記述に「わかりやすかった」という記述があったことから、全体としてはやや達成されたと判断できる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は1年次に配当されている「専門教育科目」の「観光に関する科目」である。観光学の基礎や観光ビジネスを学ぶ基礎としての位置付けという意味では内容的妥当性があると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、各項目の平均値が3.9～4.3と比較的高いことから学習目標はやや達成できたと考えている。ただし、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は平均値が3.9とやや低いため、この点については今後学生に発表の機会を設けるなど授業を工夫していきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。法律科目という性格上、難しい内容になりがちであるが今後もうまくできるだけわかりやすく丁寧な授業となるよう心掛けていきたいと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国内旅行実務取扱管理者試験に合格した受講生がわずかであり、ほとんどの受講生が再受験するというのを念頭に置いた。そこで総合旅行業務取扱管理者試験の「業法・約款」にも力を入れて、国内旅行実務管理者試験の合格者増の助けになるような授業を目指した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	受講生38名のうち「不可」となった者はゼロであった。学生のコメントを読んでも、授業だけで十分に理解できたというものが多かった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

国内旅行業務取扱管理者試験に対応する「国内旅行実務」「欧米・アジア観光文化地理」と連携がうまく取れており、位置づけは妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講生の成績の全体は良かったものの、試験問題の中に多くの受講生が解けなかったものがあった。次に担当する際には、その内容に時間をかけて丁寧に解説をしたい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示ください。

学生の受講態度も良く、授業中書いているコメントカードの内容もしっかりしている。総合的に判断して、問題のない授業であった。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光マーケティング論	3	前期	選択	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」75.0%、「単位数を確保する」68.8%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④観光を学ぶ学生たちに観光産業及び観光地域でのマーケティング事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、観光マーケティングの魅力とその理論のエッセンスを理解してもらうことに工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解、思考判断、意欲関心に関してはそれぞれ100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、6.3%、インターネットの利用に関しては、37.5%で、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「観光マーケティング論」となっており、インバウンド観光における観光マーケティングを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が96.9%で、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光マーケティング論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
宿泊産業論	3	前期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、配当学年が3年生ということもあり、専門的な内容となっている。</p> <p>本講義では、ホテルの起源より始まり、ホテルマネジメントまで多面的な授業となった。また、実務家外部講師の登壇により、就職活動にはいる学生にとってより宿泊産業の実務をイメージしやすいものとなった。</p> <p>毎回の授業では、レジュメを配布し、レスポンスシートを提出することにより、授業ごとの疑問点などを解説・共有することを心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は通常の講義方式となり、学生の発表の機会がなかったことにより、学生参加の項目において評価が低かったものの自由意見の中では、外部講師の授業評価なども高く、おおむね目標は達成できたと料する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

レスポンスシートを提出させることにより、学生の参画意識を高めるとともに疑問点の解消に役立てるようにしている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今後は、学生に発表の機会を設け意見をまとめ、またレポート内容の質の向上を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

教育目標は達成されたと考えているが、「到達度自己評価のなかで、コミュニケーション力や表現力を高めることができた。」項目についての平均値が低かったため、今後、学習効果を上げるべく次年度に向け検討したいと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
インバウンド観光論	4	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」76.9%、「単位数を確保する」76.9%となっております。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④学生たちに各国の文化地理、旅行に対する一般消費者の考え方、日本のイメージ及び訪日旅行の事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、日本におけるインバウンド観光の意義を理解してもらうことに工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は82点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解、意欲関心、態度に関してはそれぞれ100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>学術データベースの利用に関しては、7.6%で、インターネットの利用に関しては、38.4%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「インバウンド観光論」となっており、観光産業界におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価は良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「インバウンド観光論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、意欲関心、態度のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マーケティング入門	2	前期	必修	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティングは、実際の企業経営の中心課題であるであるが、本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されている。その学習成果に加え、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、北九州市などの自治体など団体組織におけるマーケティングの役割の理解に重点をおいている。またマーケティング興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用した。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論を学んだ学生にマーケティングへの興味・理解をステップアップさせるために新聞・テレビなどのマスメディアやインターネット・SNSにおける済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	この授業はあくまでマーケティングという学問への興味を促進することが大きな目的としているので、映像情報、ビジュアル情報など多用し、興味から学習意欲の向上を促した。アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなどこの点の改善を図る。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目目標は達成されたとと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい（レポート課題提出1回実施）。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告宣伝論	3	前期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>広告宣伝は、企業経営・マーケティングの重要な要素である。そのため経営学入門の学習成果をもとに企業経営におけるマーケティングおよび広告宣伝の役割の理解に重点をおいている。また、広告への興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業経営を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。本科目の特性として、実務科目ということもあり、社会、消費者動向変化に対応する最新性が重要であり、企業としての広告活動の実際を学ぶため、学外講師（広告会社）をオンラインで招聘しての講義、思考・表現能力の向上を目指したテーマを与えた個人企画・プレゼンテーションをおこなった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>体系的なカリキュラム構成による「経営」におけるマーケティングの理解が困難なため、あくまで「マーケティングにおける広告とは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性は評価できると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

外部講師授業、課題など授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入し、問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等のさらなる養成も検討していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。企業経営・組織について知識の習得を踏まえた授業計画・内容としたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディア政策論	4	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は、2年次必須科目「マーケティング入門」、2年次選択科目「イベント・テーマパーク論」および「消費者行動論」、3年次選択科目「広告宣伝論」および「ブランド戦略論」などのマーケティング領域科目を学習した4年次生向け科目である。そのためそれらの学習成果を活かすテーマおよび内容とした。テーマは授業科目名「メディア政策」、とりわけSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）領域の学生自身が身近に捉えることができるものとした。内容としては、ディスカッション中心で進化した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績平均値・分布や授業評価アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなどこの点の改善を図る。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性は評価でき、アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目目標は達成されたとと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。今後の検討課題としては、受講生が10人程度と少なく、しかも、4年次前期ということもあり就活で欠席する学生が散見されることである。これはやむを得ないことと認識しているが、本科目の開講曜日を必須科目「卒業研究」と同曜日にするなどの工夫が必要と思われる。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高野 雄史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネスと法	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>法は社会ルールの1つなので、実際の社会生活の場面と関連させて授業を実施しました。具体的には、契約において自己が①消費者（利用者）側になる場面、②事業者（提供者）側になる場面など、日常生活で行われていることが、法とどのように関連しており、どのような具体的なルールが存在するのか意識してもらうことを重視しました。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業後のコメントカードにたくさんの疑問や感想を積極的に記入していただき、それらの内容は授業で学習した視点で日常生活を見直したからこそ生じた疑問でした。つまり、本授業を通じて、日常生活に法やルールの存在を意識することができるようになったと思います。また、レポート課題の内容や成績評価についても概ね良好でした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>【結論】 本科目の位置づけからみた内容は妥当性であると思います。</p> <p>【理由】 法は社会生活を送るうえで欠かせないものです。つまり、すべての人が社会のプレイヤーとして、商品やサービスの利用者になり、同時にその提供者にもなり得ます。その意味で、社会人としての教養としての法知識・法的思考を修得すること、および様々な法規範が存在する観光業で活躍する素養を修得できるものと考えているからです。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>【授業の進め方について】 今年度から対面形式が再開しました。数年ぶりの貴学の教室での授業でしたが、比較的順調に授業運営をすることができました。また、Googleclassroomの課題機能を利用して、学生から授業ごとの感想や質問を受けることができたので、授業準備に大きく役立てることができました。特に、授業終了時に用紙を強制的に回収する必要性がないことから、提出課題の記載内容がより充実したことは評価できます。別途回収した授業の感想でも概ね好評だったので今後も継続したいと思います。</p> <p>【授業以外の学習について】 毎年度「課題がなかった」「分からなかった」とのご意見をいただきます。授業のガイダンスでお話しました通り、学生の皆様が学校生活、アルバイトなど健全な社会生活を送っていただくこと自体が授業以外の学習ですので、実は授業以外の学習といえます。ですので、「取り組んでいない」というわけはありません。来年度はガイダンス資料にも明記して誤解のないようにしたいと思います。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の皆さんには「法と社会生活の関係性」をテーマに学習いただき、授業目標を一定程度達成することができたと思います。授業後に何度か学生さんとお話をする機会があり、率直な感想をいただけたので大変参考になりました。所属学部学科の関係で法を学ぶ機会は少ないと思いますが、法を学ぶ楽しさ、社会のルールに興味関心を持つことの重要性をお伝えできたと思います。また、積極的に授業課題に取り組んでいただき、西南女学院の学生の勉強への真摯さを感じとても嬉しく思います。もちろん、授業への自己反省・ご指摘を踏まえて、教材内容の更新・改善をまいります（例：事例や具体例のアップデートなど）。</p> <p>また、1度だけ突然の休講で大変ご迷惑をお掛け致しました。今後はこのようなことがないように体調管理をまいります。</p> <p>最後に、コメントフォームにたくさん記入していただき、楽しい授業の時間を一緒に過ごし、水1時限の朝早い時間からご受講をしてくださった学生の皆様に感謝を申し上げますとともに、これからのご活躍をご祈念いたします。あわせて、classroomなど授業環境を整えてくださった大学職員様に感謝申し上げます。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本経済入門	1	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年前期に配当されている科目である。受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生が77.8%と非常に高く、この授業への期待が窺える。授業においては経済用語間の関係の理解を中心に、わかりやすい説明を心掛けている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP項目の平均値が3.9～4.4と比較的高い評価であること、また、学生の自由記述においても「説明がとてもわかりやすく、経済がよくわかりました」とコメントがあることを根拠として挙げるができる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年次前期に配当されていることから、内容的には妥当であるとする。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：経済学の基礎を学ぶ上で「知識・思考・関心」といったDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であるとする。③以上より、内容的妥当性は問題はないとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては平均値が4.2~4.6と高いことから学習目標は十分に達成できたと考えている。今後は学生に発表の機会を設け、また学生が意見を述べる機会をより多く増やすなど検討したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

前年度と比べ受講者数がやや減少したため、一人一人に目が行き届きやすく、そのことが却って授業評価につながった面があるとする。また、難しい内容は何度も繰り返し説明することで学生に理解していただくように授業を進めたこともその一因であろう。今後は学生が意見を述べる機会をより多く増やしていきながら、また難しい内容をよりわかりやすく説明するように、次年度に向け検討したいと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2	前期	選択	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「専門教育科目」の「経済に関する科目」の一つである本科目は、1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を取り扱うことが予定されている。この点については受講動機においても「関心のある内容である」という項目が57.1%と相対的に高い比率を示していることから授業への期待を窺うことができる。各回の授業においては英語学科との合同授業であるため、わかりやすく丁寧なレジュメを作成・配付することで国際経済の基本的な知識を説明した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	DP1～DP3の項目の平均値は3.9～4.4をマークしているため、全体としては達成されたと考えることができる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を扱う科目であり、またDP全体の平均値は3.9以上をマークしていることから、内容的妥当性については特に問題がないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価については、「授業中に自分の意見をまとめる、話合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目の平均値が4.2と比較的低いものの、その他の項目の平均値は4.3～4.5であるため、授業の進め方については問題がないと思われる。ただし、今後は学生に対して発表の機会を設けるなどの工夫を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体として授業目的は達成されたが、今後は、学生に発表の機会を設け、意見をまとめ、またレポート等を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光フィールドワーク	2	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は2年次配当であり、1年次後期にて「フィールドワーク入門」の授業の発展としてにフィールドワークを実践することにより、卒業論文を含めた、3年次・4年次において行う各種調査研究について基礎的な知識を習得するものである。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価において、平均値が4.0～4.3となり、おおむね達成されていると史料する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機については「関心のある内容である」が66.7%、「単位を確保する」が58.3%であった。また、「友人が履修している」についても33.34%となっており、グループワークについての興味が受講動機となっている可能性を示唆している。1年次後期よりの連続性のある授業であり、カリキュラムマップについては妥当であると評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前半は「フィールドワーク入門」の振り返り並びに基礎的座学の復習を行い、中盤以降、フィールドワークの実地を行った。コロナ後のグループワークであり、学生にとってチームワークの醸成に寄与できた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

フィールドワークのアポイントについて、学生主体のアポイントとなったため、日程に課題を残した。次年度以降は指導を強化していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
タウンマネジメント論	3	前期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については「関心のある内容である」67.7%「単位数を確保する」58.1%であった。</p> <p>学生にとって、街づくりというあらたな領域のため、具体例をあげながら説明し、後半はグループワークにより、より理解を深める内容とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価において平均値が4.0～4.3であり、目標についてはおおむね達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は3年次配当である。

受講動機において「関心のある内容である」と「単位数を確保する」が拮抗している状況であるが、DPにおいては配当年次相当のものを求めており、カリキュラムマップとあわせて、内容については妥当であると思料する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業後半においてはグループワークとなり、各演習室に分かれての授業となったため、グループワーク発表まで各グループの進捗共有などが図れなかったことが課題として残った。次年度よりは改善を図っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業評価としては一定の達成度があったものの、グループ分けについて濃淡ができたために、学生に負担の差異が発生したことが反省材料としてあげられる。次年度は改善していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	必修	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>採点対象者数21名、アンケート回答者16名。受講動機を高い順に示すと、①必修科目である(100%)、④単位数を確保する(12.5%)、③関心のある内容である(6.3%であり、積極的な受講動機とは言えない。対面授業の教室内の学習活動に加えて、図書館の多読(英語)図書を使っての多読、E-learningのCHleruを使っての学習活動がある。予習前提の語学の授業であり、大半の学生が実際に取り組んでいた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>採点対象者の成績を%で示すと、A66.7、B23.8、C9.5である。回答者16名の授業評価アンケートでは、到達度自己評価では、到達度自己評価の「(1)自分なりの目標を達成した」から「(10)職業選択の参考になった」までの10項目の平均値は4.28。到達度自己評価の「(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができたのに項目が4.5である。これにより知識・理解は達成できたと考える。「(9)職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が、平均値3.6(中央値4.0)で最低であった。以上のことから全体を通して「達成された」と考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DRCPカリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性</p> <p>①1年生の前期の英語の必修科目である。英語が好きではない学生がいる中で、基本的英語能力を高めるためにも、入学最初の学期に当科目を置くことは、意味がある。入学時のオリエンテーション期間に行っている英語のプレースメントテストの結果を受けて、習熟度別の授業が展開できた学年である。英語については高校の教育内容との高大接続的な意味合いもあり、基礎的英語力の足並みをそろえるためにも、この時期にこの科目を置くことはカリキュラムマップ上妥当である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方とその向上について</p> <p>①学生の自己評価の「学生の意見」には、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「授業内で十分だった」（4名）、「課題でたくさんだったから」（1名）、忙しかった（1名）が学生の意見である。確かに入学直後に大学の授業に慣れる必要がある時期には、負担の大きな授業だったかもしれない。教室内の学習活動に加えて、英語の多読活動、E-learningもあるので多忙だったのだろう。</p> <p>②授業アンケートの3. 授業の質評価では、5項目の平均は、4.3である。「（2）期間内に行うべき学習の範囲は課題は明らかであった。（5）口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け、それに答える機会が作られていたの2項目が、最高で4.4だった。また、「（3）説明は理解しやすいものであった」が、平均値の最低で4.1であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総括的評価と来年度に向けての課題</p> <p>成績、学生の授業評価アンケートの結果から、総括的評価としては十分な学習がなされたと考える。英語の多読の活動で、4回以上のレポート提出を課していたが、最終月にまとめて出す学生もいたが、大半の学生はコンスタントに読む習慣を身につけ始めているということもあり、意欲的な学習姿勢が涵養されてきている。課題としては、上の学年の再履修者をどのように指導するかがあり、その点の改善策を考えたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英語学科生と異なり、英語を専門としない学科の授業であるため、教材は易しいものを選んだ。自主学習を前提とした単語テストを課したり、多読も課しているのので、授業で使用する教材が負担にならないように心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価が全ての項目において3.5前後である。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

観光文化学科において、英語科目を必修にすべきかは、既に議論が始まっている。英語学習に関心があるものと全くない者で二極化する傾向があり、授業としては現状のままでは効果が上がらない可能性もある。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

自己評価としては精一杯行い、それについて来てくれる学生が半数以上いたと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

初めて観光文化学科を担当し、良い経験になった。大学で英語の講座を開講する場合は、その目的を明確にし、目的を達成するために十分な意欲と基礎英語力を持っている学生を対象にしないと、あまり効果が上がらないかもしれない。必修科目にするのかも再検討が必要かもしれない。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Leaver Soren Eric

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
入門英会話	1	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、英語を理解し、基礎的な文法を使って英語を話す練習に重点をおいておりました。学生は準備を十分にしておいて授業にのぞんでいました。学生の参加意欲は だいたいに置いて高かったです。英語を使って基礎的な会話を少人数のグループでやる機会が授業のなかで多く取れたと思います。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体としてのトータルの成績、理解度において達成できたと思います。準備は良くできておりました。インターネットの利用も理解し、課題提出はよくできておりました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生同士で英語での会話に挑戦することで、会話の機会が多くなり、それぞれの実質的な理解度を深めることができました。また文法学習を行い、その後反復して会話を行うことで文法を体感して捉えることができる利点があり、CP上での位置づけは妥当だと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今回の授業では、私の教え方は効果的でした。学生とのコミュニケーションもよくできていたと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

このクラスの全体的な進行には満足しています。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初級英文講読	2	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英語学科生と異なり、英語を専門としない学科の授業であるため、教材は易しいものを選んだ。しかも教科書を購入させず、著作権フリーのVoice of Americaから、履修生のレベルに相応しいものを選び、各自でプリントアウトすることで教材とした。英文講読という講義名称ではあるが、基本的な英語力の底上げが主たる目的であるため、場面がよくわかる動画付きの教材を選んだ。また毎回の単語テストを行い、予習を促した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価が3.8から3.9平均で、なかには4、5の項目もある。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

選択科目として配置するのは良いと思うが、必ずしも英語学習を是非継続したい強い意志を持つ学生だけではないようだ。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初めて担当したが、真面目に聞いてくれる学生が半数以上いたので、良い方だと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

初めて観光文化学科を担当し、良い経験になった。大学で英語の講座を開講する場合は、その目的を明確にし、目的を達成するために十分な意欲と基礎英語力を持っている学生を対象にしないと、あまり効果が上がらないかもしれない。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ基礎	2	前期	必修	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>採点対象者39名、授業評価アンケート回答者19名。2年前期の英語の必修科目である。次の三つのプロセスを示した。1. 授業でE-LearningのCHleruのダイアログとモノログをE-Learningで行う。2.それについてのプリントを配布して、それを次回授業までに調べておく。3. 次回授業でプリントの音読と課題を確認をする。学生は、1と3を授業で、2を授業前にするという規則的なパターンで学習習慣を身につけるようにさせた。2.で、プリントをしておくということで、学習準備ができていたことがどういうことであるかを確認した。授業評価アンケート(回答者21名)では、4. 学習量の評価では、「(1) 授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、②1回が9名で最多である。③2, 3回から⑤6回(3回、11回)までを選んだのが合計7名である。事前の学習ができていないという事実には対策が必要となる。しかしながら、自由記述として、4. 学習量の評価(4) 授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として10名の記述があるが、その中にはEラーニングのチエルをしていたという学生もあり、課題をしていた者もいる。自由記述の4. 学習量の評価(4) 授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習には9名が答えており、授業の予復習に当たる学習をしていたことが確認できる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された			やや達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>4.学生の目標達成状況について</p> <p>評価の根拠として成績を%で示す。本試験では、A(23.1)、B(23.1)、C(35.9)、D(7.7)、E(5.1)、J(5.1)となっている。再試験を受けない学生もいた。放棄者を除いては大半が単位を獲得している。AとBで46.2%である。学習到達度の自己評価は10項目の平均は3.86。その中で最高は(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.1)。(3)事象(自然、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができたが、最低で3.7。全体を通して教育目標はやや達成されたと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機を%で示すと、①必修科目である(89.5)、以下は高い順に追うと、③単位数を確保する(31.6)、⑤GPAを上げるが、同数で15.8。⑥友人が履修している(10.5)、②資格取得に必要である(5.3)となり、散らばっている。②が一人ではあるが、意欲的な学生もいたことが分かる。授業評価の、「4. 学習量の評価(4) 授業の課題以外に学習に取り組みましたか」に対して、していないが10名、取り組んだが9名である。まだまだ、授業だけの取組をした学生の方が多い。選択科目にその関連の英語科目があり、それを学生も意識していることがうかがえる。以上のことからこの英語の必修科目を2年前期に設けることの妥当性があると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習の質評価の5項目の平均値は4.02。担当教員への意見は3名。一人は学生が学生自身の努力を称賛し、二人は感謝の言葉だった。A,Bクラスが別授業であった昨年度の自由記述では、A、Bクラスの授業のやり方の違いがないように、2021年度後期は担当者を変更するように。文法の説明への疑問などがあった。それらを受けて、本年度は受講生減、もう一人の授業担当者の退職を受けて、林が一学年を合同で行う方式にした。文法用語の説明は必要のない限り、しないようにした。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

次の3つをシラバスでは達成目標として示した。1、3については客観的に根拠を担保できるが、2については評価が難しいが、最終試験の二種類のTOEIC型試験である程度は確認できた。3について、最後の課題として音読の提出物により確認した。これらのことから包括的には目標はやや達成されたとした。

達成すべき行動目標

- 1 CH1eru の1,300 (学習) マイルを達成できる。これが評価割合「レポート外の提出物」として、20%になります。部分点はありません。
- 2 TOEIC の400 点レベルのリスニングができる。
- 3 基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができる。

昨年度までの2年間の遠隔授業から、本年度は対面授業となり、一つの学年を丸ごと一クラスで指導するようになった。そこでは学生間の習熟度の差が大きく感じられる。しかしながら、PC完備の情報処理演習室で、学生がE-Learningで個別学習を使い、教員が必要に応じて個別指導も行い、何とかクラス全体の底上げを行える術を検討したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
入門TOEIC演習	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目名の通り、TOEICという英語検定試験を初めて受験する学生を念頭に置いた授業を心がけた。そのためTOEICの構成や問題について、学生が復習しやすいように詳細な解説がなされている教科書を選定した。昨年よりも受講人数が少なかったのと、対面での授業であったため、単語の確認などのペアワークを行い、その間に机間巡視を頻繁に行い、学生とのコミュニケーションに努めた。また教科書は得点を取りやすい問題を優先的に掲載していたため、毎回の授業でTOEICの特徴である「どの問題も同一配点すなわち難易度にかかわらず1問1点」「難しい問題はスルーしても良い」「やさしい問題は確実に解答する」を繰り返し説明して、試験の傾向と対策について言及した。またフォローアップを充実させる観点から、毎回の授業終了直後に、Classroomにリスニングパートのスキリプトのファイルをアップロードした。くわえて単なるスコアアップというテスト対策のような授業ではなく、TOEICで主に出題される単語が実務系である点に着目して、ビジネス英語およびビジネスの現場にも言及し、学生が将来のキャリア形成の一助にもなるような授業を展開した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>DP1の知識理解に関しては、中間試験の平均点が、30点満点中26と良好な結果が得られた。定期試験については、50点満点中26.2であった。特に定期試験については、中間と比べて受講者間で得点差が大きかった。達成できた受講生とそうでない学生が混在しているため、本科目における達成状況はどちらともいえないという結論に至った。定期試験は本番のTOEICを意識した問題で、これまで学習した内容をあらためて問う問題形式ではなかったため、正に現時点における学生の実力が示された形となった。どのような内容の問題が出題されるのかをイメージできるように、難しい単語やフレーズのリストを渡しておいたが、それに目を通した者とそうでない者との得点差の大きい結果となった。この点に関しては、試験前に時間を取って授業内で「試験対策」を行うことも導入すべきであったと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習到達度の自己評価においては,(2)知識を確認,修正したり,新たに得ることができた,という設問に対して,全員が「そうだと思う」を選択している点などから,内容的妥当性は確保されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館,インターネット利用」学生の意見など

今年は昨年と異なり,開講から最後まで対面授業を行うことができ,遠隔授業でできなかった机間巡視で学生と直接face-to-faceでコミュニケーションを取ることができ,さらに昨年よりも受講人数が少なかったことも奏功して,非常に有意義な授業を展開することができた。遠隔では学生の通信環境によって,度々円滑な伝達などができないことがあったが,対面ではそうしたこともなく,重要事項などもスムーズに伝えることができた。語学の授業においては,対面の必要性かつ重要性を再認識した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価における(2)知識を確認,修正したり,新たに得ることができた,という評価項目に対して,全員が「そうだと思う」を選択しており,TOEICにまずは慣れ親しむという入門レベルの目標は達成できたと思われる。実際,自由記述においても,「分かりやすかったです。ありがとうございました」など好意的なコメントが書かれていた点からもそれが裏付けられた結果になったと考えている。今後の課題としては,今年のように机間巡視を行うことで,受講生1人1人とのコミュニケーションを積極的に取っていきたい。そのためには各自の英語力を早い段階で把握し,それぞれの能力や特性に応じたきめ細かい対応を行いながら,学生の授業満足度を高める授業を展開したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
入門英語通訳ガイド演習	3	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The first term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to translate Japanese culture into English for tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student grades were well-balanced from the 60s through the 90s.</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The skills being practiced were both practical and useful. As always, the average student took the opportunity to improve their skill set.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will be to continue to integrate the significant amount of additional blended learning materials created over the past two years. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic. I am very proud of what has been achieved the past two years on behalf of the students and will continue to integrate new blended learning materials into my lesson plans.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Returning to face-to-face classes has been a welcome change after two years of extremely challenging work under pandemic restrictions.

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム英語	3	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>【重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストによる事前・事後学習。 ・授業では必ず、次の時間の学習範囲を伝え事前学習をするよう指導した。 ・事前学習では、特に「発音」に注意するよう指導。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い英語を学ぶ授業内容のため、基礎に重点を置きながら短文の作成を行った。 ・A A、A評価の学生が半数以上であり授業内容の理解は出来たと評価できる。 ・一方、基礎が足りない受講生には「観光英語」の検定試験を受けてみるように指導した。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・コロナ禍における観光業界が先行きの見えない中、進路の選択に困っている受講生がいたが、語学はどのような職種でも必要であり、特にこの科目は実践英語を学ぶという意味では重要と史料する。

・「到達度自己評価」の(4)自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た、と評価した受講生が55%以上であったことは自己を見直す良いチャンスであったと史料する

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・英作文は問題はないが、語意の不足が感じられた。所謂、専門用語である。

・次年度においては、「語彙力」、「発音」に重点をおく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・ツーリズム英語の場合、基本の語学力に加えて専門用語の習得を行うことであるが、一般的に使われている言葉を時々の状況でうまく表現出来ないことが解かった。次年度は、旅行中の事象を数多く取り上げ適切な英語表現ができるように持っていきたい。

・観光英語検定を受験した学生がいなかったので、次年度は合格者を出したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門中国語会話	1	前期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 1年生を対象とする授業である。ほぼ全員が初めての中国語の学習なので、中国語の特徴や学習方法を十分に説明する必要がある。まず中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して中国語の話し方、習慣の表現等の特徴を理解し、応用能力を身に付けてもらう授業である。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国の事情等を適宜に紹介する。</p> <p>2. 学習者の学習への意欲を高め、学修状況を確認するし、ユニットごとに確認テストを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は93点であり、再試対象は0名であった。個人都合の1名を除いて全員が標準レベルに達したのである。</p> <p>学生による授業評価においては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができる観点での自己評価にかなりそうだと思う」、「新しい知識を身に付けたと考えられる」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においては5、0と高かったので、中国語コミュニケーション力や表現力に高かった技能表現に達している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP,DP,カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性

本科目は「専門教育科目」であるが、内容的に妥当であると考え。さらに異文化、多言語の領域でもあるが内容的には妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては

「テスト、レポート提出物などの評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見を纏め、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」等については5, 0と高かった示されていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育科目の位置付けから、基礎的知識を概ね身に付けているが、次の中国語の授業を引き続いて指導する予定である。学生に中国語の総合能力を身に付けてもらっている。次年度により綿密に実施することを行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
実用中国語会話	1	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 1年生を対象とする授業である。基本的に中国語の会話や基礎文法の学習などを通して、実用応用能力を身に付けてもらうための授業である。学習者の学習への意欲を高めるために、毎回中国語で会話練習や小テストを実施している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は95点であり、再試対象は0名であった。15名全員が理想的レベルに達したのである。</p> <p>学生による授業評価においてはすべてが5、0と高かったので、中国語コミュニケーション力と表現力が高かった知識理解に達している。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、DP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性

本科目は「専門教育科目」であるが、内容的に妥当であると考えている。更に異文化、多言語の領域でもあるが内容的には妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業質評価においては

すべての項目においては5, 0と高く示されていた。但し、次年度は非常勤の教員に担当してもらうので、今後の指導方法については非常勤の教員と検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育科目の位置付けから、基礎的知識を概ね身に付けているが、学生に中国語の総合能力を高めるために、復習予習をより綿密に実施してもらいたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎中国語	2	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1、2年生を対象とする授業である。ほぼ全員が中国語学習をする経験があるので、上級中国語の能力の養成に重点を置いている。具体的にはややハイレベル中国語の会話や文法を学習した上に理解能力、表現能力の総合能力を身に付けてもらうことを目指した授業である。</p> <p>2、学習者の学習への知識理解や学習意欲を高めるため、中国語でプレゼンテーションや日記を実施していた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルは9名しかいなかった。学習による授業評価においては、4、5と5、0が高かったが、教科書がやや難しことが反映されていたことである。次年度に教科書選定の見直しとコミュニケーション力を促す必要性があると考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性

本科目は「専門教育科目」であるが、内容的に妥当であると考えている。更に異文化コミュニケーション等の領域でも内容的に妥当であったと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の到達度評価においては「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均5, 0と高かったが、他には4, 0とやや低かった。授業の質評価においては、「説明は理解しやすいものであった」「授業中に、自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」などは5, 0と高かった。次年度に予習復習を徹底的にするように促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育科目に当たる科目の位置付けから、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、表現力、総合応用力の面では課題を残した。復習課題の提示等で改善を図りたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級中国語	2	前期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目に当たる中級中国語は観光文化学科における教育の骨格となる分野の習得を深める科目である。中級中国語能力の養成を重点に置かれている。具体的には中国語の会話、基本的文法を学習する上に基礎的な知識理解や技能表現等の総合能力の養成を目指した科目である。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は87点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルは7名しかいなかった。学習による授業評価においては、「説明は理解しやすいものであった」は4、5となっているが、他のすべての項目は5、0と高かった。次年度にしっかりコミュニケーション練習時間と復習課題を加えていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容の妥当性

本科目は専門教育科目であり、後期の上級中国語に繋がっている科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるので、内容的妥当性には問題は無いと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の到達度自己評価や授業質評価においてはほぼすべての項目は5, 0と高かったのである。次年度に学生に事前に予習復習を徹底的にするよう促したい。また、しっかり基礎的な知識を身に付けてもらうために、中国語で日記などの作成を継続的に実施していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

専門教育科目に当たる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、表現力、総合応用力では課題をのこした。しっかり復習時間が少なかつたため、復習課題の提示などで改善を図りたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用中国語	3	前期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語の応用力を鍛え、聞く、話す、読む、書く、訳す能力を高めることを目的とします。学習者は中国語の初級知識を有しているが、単語量はまだまだ豊富ではなく、既習知識を上手に応用できない状況にあると考えられる。受講動機は「関心のある内容である」が77.8%であったことから、一部の学習者が中国語学習に関心が低くなっていることが分かります。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者を授業の主体とすることです。学習者にしっかり予習して、授業では予習した内容を発表し、授業後はしっかり復習するという学習習慣を身に付けさせ、小テストで学習効果を確かめる。学生が分かる、できる、つながるを感じながらレベルアップできるようにすることに重点を置いた。</p> <p>②開講時に学習目標や、学習方法、評価方法を明示し、また、毎回の授業に授業スケジュール、予習・復習の内容を明示した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、小テストも期末試験も優秀な成績を収めたことから上記のように評価した。</p> <p>また、学生による到達度自己評価において、(2)知識の確認、修正したり、新たに得ることができた項目の中央値も、(9)職業倫理や行動規範について学ぶことができた項目の中央値が5.0であった、(3)～(7)の項目の中央値も、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた項目の中央値が4.5であったことから、上記の評価は適切であったと言えます。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容の妥当性
本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」と関連性を持つ重要な位置にある。学生により学習習慣を身に付けさせ、中国語学習において、分かる、できる、つながるという喜びを実感してもらうことが最も重要だと考えて授業を進めた。大多数の学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみての内容的妥当性
「学習到達度の自己評価」において、(2)知識の確認、修正したり、新たに得ることができたの項目の中央値も、(9)職業倫理や行動規範について学ぶことができたの項目の中央値が5.0であった、(3)～(7)の項目の中央値も、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができたの項目の中央値が4.5であることから、内容的には妥当であったと考えられます。
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

常に学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めておりました。
「授業の質評価」は(1)、(2)、(4)、(5)の4項目の中央値は5.0で、(3)の項目の中央値は4.5であることから授業の進め方は大多数の学生に合っていた、適切であったと言えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「授業の質評価」の(1)、(2)、(4)、(5)の4項目の中央値は5.0で、(3)の項目の中央値は4.5であることから、総括的に高い授業効果が得られたと評価する。
如何にしてすべての学習者に同等程度の授業効果が得られるかが課題です。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習	4	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目に当たる中国語通訳ガイド演習は観光文化学科における教育骨格となる分野の習得を深める科目である。中国語通訳ガイド演習の力の養成に重点を置く。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳通訳技能の養成を目指した科目である。学生の中国語の水準はあまりに異なっているため、授業の進め具合はかなり難しかった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均値は75点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的なレベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは5名しかいなかった。学生による授業評価においては、それぞれの項目は4, 5と5, 0と高かったが到達度自己評価全項目は3, 0と3, 5とかなり低かった。					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性
本科目は「専門教育科目」であるが、観光文化学科の領域をつなぐ要の位置にあり、中国語通訳案内士等の資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野への理解に応えるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから内容的には妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においてはすべての項目の平均が4, 0とやや低かった。次年度練習量と課題の技術能力を向上させることを改善したい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

本科目は専門教育科目の位置づけから、基礎的な中国語知識の形成については概ね達成できたが、表現技術の面では課題を残し、より綿密に復習時間が少なかったため、次年度に改善を図りたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Andrew Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米文化交流研修 A	1	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The aim of this course is to introduce the students to western culture and provide a practical period of practice. Under regular circumstances there is a practical overseas component, which was not available this year. In lieu of this, a practical day of activities was prepared that included work at Kitakyushu Global Gateway. The students' interest in the course was evident with the 86% response to 「関心のある内容である」.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>The students' generally high motivation and positive attitude were evident throughout the course. This is reflected not only in the 60% of A and S scores, but also in their self-evaluation scores ranging from 4.0 to 4.6, as well as a course evaluation of 4.4. There were, however, some students that were not as motivated or interested as would have been expected with a 86% interest in the course material. Those students finished the course with scores reflective of their effort.</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

This course serves well as an introduction to various topics and interests that the students can and will encounter in their university career. For those students in the upper year groups they can use their previous studies and experiences to reinforce their knowledge and skills. In this respect the course is appropriately positioned on the curriculum map.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

As the course focuses primarily on communicative skills it was nice to finally be able to conduct the course in person after the last couple years of pandemic restrictions. The students motivation and cooperative attitude went far in helping to make this course a success.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Although we were unable to conduct an overseas component to the course, everything went well and according to plan. It is hoped that the course can return completely to its original intention with students going overseas for practical training.

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア文化交流研修 A	1	前期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>アジア文化交流研修Aは中国語や中国の文化を学習する授業である。中国大連大学へ3週間文化交流研修に行く予定であったが、コロナウイルス感染により実現できなかった。大学で14回授業して、国内にある長崎へ2日間研修を実施した。長崎の中華街やグラバー園、長崎原爆資料館等へ見学していた。中国に文化や国際化についての理解を深めることができた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達したが、理想的なレベル（概ね90点以上として試験を作成）に達しものは13名となった。目標別にみると、到達度自己評価は「自分なりの目標を達した」は4、0となり、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」3、5と低かった。さらに検討や改善を図りたい。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性

本科目は「専門教育科目」であり、異文化交流に関する科目をつなぐ要の位置にあり、選択科目である。学生も一定の知識や成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業質評価においては、「テスト、レポート、提出物等の評価基準は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」などが平均値4.0とやや高かった。毎回課題を解決する際に知識を明示することが促すように加えたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

専門教育科目において、異文化交流や理解する科目であるが、毎回の狙いを具体的に示すことが必要であると考えます。次年度は可能な限り課題をより綿密に指導することをやりたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化論	1	前期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>世界の国々と日本の文化について、毎回1つのトピックに縛って比較をしながら授業を進めてきた。特に中国と日本の文化にそれぞれの長い歴史や置かれた環境の影響があるため、多様な文化が共生できる社会を構築するにはどのようなことが必要であるか、学習者には何ができるのか意識してもらった授業である。毎回のテーマから何を学ぶかを課題の一つとして挙げてもらった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは42名となった。</p> <p>目標別にみると、意識関心は85%、態度に関する問題は80%であった。与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また異文化に対する意識に対して十分に示している。</p> <p>学生による授業評価においては知識理解の観点、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が意識で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、毎回の授業に示す「狙い」の表現を工夫するようにしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性
本科目は「専門教育科目」であるが、異文化コミュニケーションをつなぐ要の位置にあり、選択科目である。内容的には妥当であるとする。
DP、行動目標から見ての内容的妥当性
成績評価から知識理解に関する達成度が比較的高かった。その領域の成績から見て内容的には妥当であったと考える。
纏め、以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3, 5と低かった、事例を取り上げて検討をする機会を作ったが、じっくり考えてもらう時間は十分に取ることができなかった。次年度に向けては、知識理解の目標を具体的に示したうえで、授業に参加するよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育科目としての本科目の位置付けから、基礎的な知識や異文化コミュニケーション能力については概ねに達成できたが、知識理解の面では課題を残した。この点は次年度じっくり検討を加えていきたい。復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	はい	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>総合旅行業務取扱管理者試験に対応できるように、試験内容に沿ったものを中心に指導を行った。「映画で学ぶ世界遺産」で指導した内容については時間節約を考慮して重複を避けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	自由コメントを読むと授業満足度は高いようであるが、自ら行った学習量が少なかった。また、「不可」となった学生が数名おり、授業中の指導に至らぬ点があったものと考えている。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「国内旅行実務」「アジア観光文化地理」「映画で学ぶ世界遺産」「旅行商品企画論」などと補完しあう内容となっており、妥当であると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

ここ数年のさまざまな法律改正が旅行業務取扱管理者試験にも影響を与えており、最新情報を提供する必要性を痛感している。例えば、成人年齢の引き下げ、新型コロナウイルス感染にともなう各国の対応、マイナンバーカードの利用などは大きな影響を与えており、授業内で具体的に示すようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生のコメントを読むと授業の満足度が高いように思われるが、総合旅行業務取扱管理者試験の合格者をいかに多く出すかを今後の重要な課題としたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」85.0%、「単位数を確保する」55.0%となっております。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>最終的な成績の平均値は85.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては90.0%、技能表現に関する問題は95.0%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、25.0%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「アジア観光文化地理Ⅰ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かった。「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」90.0%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」95.0%、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が90.0%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅰ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
インターンシップ	3	前期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機の中でも「関心のある内容である」が81.8%と多くを占めており、就職活動を踏まえてのインターンシップとなるように前半で座学を中心に後半は各自で興味のある業界・企業を探求しながらキャリア形成につながるように授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	授業参加度も高く、到達度自己評価においても平均値3.7～4.2であったことにより、おおむね達成されたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は3年次配当であり、就職活動にむけた実践でもあることによりカリキュラムマップにおいては妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートによると、学生自身での企業研究に時間がかかっていたことが伺え、今後は就職課などともより協業体制を組むように改善していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業としてはおおむね問題なく進めた。

次年度より就職活動のスキームが変更となり、インターンシップがより重要となることに鑑み、授業内容を充実させていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネス演習	2	前期	必修	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、2年次前期の必修授業として配当されている。受講動機をみると、「必修科目である」と答えた学生が95.8%と高いが、一方で「関心のある内容である」と答えた学生は20.8%と低いことから、履修前に授業科目の説明をおこなう機会を設ける必要があると考える。科目名にあるように本科目は学生がどのような業界に就職するにしても、社会人として必要なビジネスマナー、キャリア形成の考え方、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶことから、身近な例を挙げながら丁寧に毎回の授業をおこなっている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価における「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.4と最も高く、また、その他の項目の平均値もすべて4.2以上となっていることから、教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、ビジネス上必要となる基礎知識を習得する貴重な機会を提供している。1年次後期におこなわれる「ツーリズム演習」を観光系の演習科目として位置づけるならば、2年次前期におこなわれる本科目は、ビジネス系の演習科目として捉えることができるため、内容的には妥当であると考え。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考え。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目は履修する学生がどのような業界に就職するとしても、社会人として必要なビジネスマナー、キャリア形成の考え方、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶ貴重な機会となることから、できるだけ具体的事例を踏まえながらわかりやすく丁寧に毎回の授業をおこなっている。授業の質評価において、平均値がすべて4.3以上と高い評価を得ていることは、この裏付けと捉えることができるだろう。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

上記DPおよび授業の質評価を総合的に勘案して、教育目標は達成されたと考えている。今後はこれまであまり実施していなかった授業に関するコメントカードなどを適時配付・回収しながら、より質の高い授業をおこなう予定である。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を最も大きく受けた学年であり、対面授業の機会に恵まれていなかったため、できる限り、対面授業を実感できる内容にするように努めた。学生もそれを分かってくれて、コメントにも感謝の言葉があった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	どちらともいえない	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	ほとんどの項目において「達成された」が、途中から「観光ビジネスプランコンテスト」の準備のため、観光資源などについて本来、教授しようと考えていたことができなかった。そのため「知識理解」については「どちらともいえない」。コンテストそのものが観光資源に関するものであり、それを通して知識理解が深まったかもしれない。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

2年次までの専門科目や演習科目で学んだことをつぎこんで行っている授業であり、妥当であると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生のコメントによれば、授業外でも自主学習をしており、望ましい進め方であったと思われる。後期は、復習を入れて、これまでの知識を確実なものにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

1人の学生が「優」であったが、他の全員が「秀」の成績であった。授業を進めるほどに学生がイキイキとしていくのを実感できる授業であった。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生9名、授業評価アンケート回答者3名。受講生について、2年後期までの授業の全般的な出席状況を見ると、非常に好ましくない状況の学生が多く、この授業では、まずは授業に出席したくなるような雰囲気作りが必要だと考えた。日本地理、地図の記号をテーマにしたカルタを使い、誰もが参加できる時間を設け、知的ゲームを通しての学習集団作り、リーダー作りを目指した。少人数授業のメリットをいかして、全体指導と個別指導を組み合わせた指導をした。学習目標を最初に説明して、学生の学習準備性を高めるようにした。アンケート4. 学習量の評価では、30分程度以上の準備をどれくらい行いましたかに対して、①2, 3回、⑤6回(3回、11回)を各1名が選んでいる。復習については、①0回が2名いる。予習重視の受講姿勢である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>4. 学生の目標達成状況について</p> <p>成績はA (33.31%)、B (66.7%)であり、十分な学習がなされたと考える。学生の自由記述では、4. 学習量の評価(4) 授業の課題以外に具体的に取組んだ学習として、自分が興味のあるニュースを調べる(1名)がある。最終的な課題に、論文を読んで、テキスト(知へのステップ)の枠組みでの分析をレポート提出させた。ここで目標が達成されたことを確認している。しかしながら「学習到達度の自己評価」は10項目全て3.3である。これらのことから、「やや達成された」とした。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機は①必修科目であるが100%。学習到達度の自己評価は10項目の全てが3.3。1年後期（ツーリズム演習）から、4年生の卒業研究（通年）までの演習・研究科目の一連の流れにある科目である。ゼミの目標を提示して、学生が選択できる科目であり、DP項目に対応して学生の適性を更に伸ばせるように工夫をした。4年次に卒業論文を書くことができるように、また社会人基礎力を養成するためにも、基礎的な言語能力、知識の枠組みを広げるためにも、3年前期にこの科目を設けることは妥当だと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

9名という少人数であり、学生のプレゼンテーション、ディスカッションを取り入れることで、全員参加型の時間を増やすことで、社会人基礎力の一つである、コミュニケーションスキルを高めることができた。授業の進め方については、特に学生の意見はない。授業の質評価では、5項目全て3.3である。「学習量の評価」（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については、1.自分が興味のあるニュースを調べる（1名）がある。授業で、「スマホより、新聞雑誌を読むことの重要性を説き続けており、その成果と考える。全体的な底上げが必要であり、とにかく学生の意欲を伸ばす声掛けを増やしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

9名の受講生の多くが誠実に学習に取り組んでいる。学習集団ができつつあるが、基本中の基本である出席率が課題の学生もいる。構成メンバーがややおとなしい人が多いので、誰もがリーダーになれるようにいろいろな機会を設けて、活躍してもらい、自信をつけ、キャリア選択に臨めるような場になるようにしたい。出席についても一人の取りこぼしがないように、授業外の個別指導を含めて、残り1年半の学習活動（ゼミ）を有意義なものとしてもらえるように、学習面、生活面のサポートを充実させていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門演習Ⅰは4年生卒論研究教育への円滑に行うために研究演習教育として位置付ける授業である。まず視野を広げ、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらう授業である。ゼミに所属して専門的に学ぶ。「研究」「多読」「レポート作成」「文献の探し方」「プレゼンテーション」「発表」などの繰り返しの練習により、実践的な力を身に付けることを目指す。学習準備の状況の確認調査を実施した。学習者の関心事を再度確認した。、</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上として評価を作成）に達したのは8名となった。ゼミ全員による授業評価においては、すべての項目は5、0と高かった。前期はゼミ12人一丸となって学科紹介のリーフレットを作成して、大きい成果を収められていた。					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性

本科目は専門演習科目である。卒業研究をつなぐ要に位置にあり、必修科目である。内容的に妥当であると考え。学習者が積極的に課題を考え、問題を思考判断として何を論述するかが確実に把握できたことから成績は上昇したことも内容的には、妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価においては、すべての項目は5, 0と高かったが、ゼミ生に自ら問題の所在や批判的に先行研究を吟味する訓練が必要であると考え。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

基礎的知識だけでなく、応用能力を高めるために毎回のねらいを具体的に示すことである。可能な限り発表練習時間を取ることを心かけている。授業中にプレゼンテーションや課題の提示等の練習改善を図りたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」90.9%「関心のある内容である」と「単位数を確保する」それぞれ45.5%、27.3%となっている。履修者が「専門演習Ⅰ」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>最終的な成績の平均値は92.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技術表現に関しては、それぞれ100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、81.8%、学術データベースの検索・利用に関しては、63.6%、インターネットの利用に関しては、45.4%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「専門演習Ⅰ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、各項目については、評価は良かった。特に「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章等、何らかの形で学生の質問を受付、それに答える機会が作られていた」の評価は100%で良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「専門演習Ⅱ」、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>対面における文献輪読を中心にマーケティング、広告宣伝、メディアの理解を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。文献輪読に関しては「デジタルマーケティング」をテーマに、各テーマごと内容の発表と関連事例を発表させた。また、社会経済状況の把握のために新聞掲載記事（経営・マーケティング領域を中心）の発表・ディスカッションも行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質など項目について概ね中央値であるため内容的妥当性はあると評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

就職活動指導とマーケティング理論と実践活動の時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったが、実践活動について社会人との調整交渉に予定外の時間を費やさざるを得ないケースがあった。社会人との議論調整によりこの課題を解決したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

グループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、就職活動にも資するようなディスカッションを取り入れ、さらなるコミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、3年前期に必修科目として配当されている。科目名にあるように本科目は学生のこれまでの学習の関連性を踏まえながら、専門分野に関する深い知識、思考力を身に付けられるように丁寧に授業をおこなっている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」および「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術をみつけることができた」という項目がともに3.9の評価となっている以外は、すべて4.1以上の評価となっているため、教育目標は全体としては達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、4年次に「卒業論文」を執筆するために必要となる基礎知識を習得し、またその素養を高める貴重な機会を提供しているため内容的には妥当であると考えます。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考えます。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の授業は前年度に比べグループディスカッションを中心に若干の修正を加えた。1～2年次の演習・研究科目と卒業論文の執筆との間に位置づけられる本科目は、これらの繋ぎの科目としての役割があるが、前年度より到達度自己評価が若干高くなったため、一定の成果があったと考えている。しかし、今後もさらなる授業の質向上に向けて内容の検討をしたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

前年度と授業内容を若干修正したことで、到達度自己評価項目の平均値が若干向上したことは一定の成果と考えることができる。今後も授業の質向上に向けて内容の検討をしたいと考えている。